



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月4日

上場会社名 株式会社トラス・オン・プロダクト 上場取引所 東
 コード番号 6696 URL <https://www.traas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤吉 英彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 青柳 貴士 (TEL) 045-595-9966
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績(2026年2月1日~2026年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	74	—	△39	—	△39	—	△41	—
2026年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期△41 百万円(—%) 2026年1月期第1四半期— 百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	△8.68	—
2026年1月期第1四半期	—	—

(注) 2026年1月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2026年1月期第1四半期の数値及び2027年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	488	—	309	—	63.0	—
2026年1月期	564	—	350	—	62.0	—

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 307百万円 2026年1月期 349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	535	10.3	3	—	1	—	△6	—	△1.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は7ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	4,826,991株	2026年1月期	4,826,991株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	111株	2026年1月期	111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	4,826,880株	2026年1月期1Q	4,824,880株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化する円安や原材料価格の高騰による物価上昇に加え、金融資本市場の変動、米国の政策動向や中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり等、下振れリスクへの警戒感も根強く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、過去からのBtoB市場に向けた単なるモノの販売から脱却し、成長方針に掲げるBtoB市場に向けたモノづくりを基盤としたSaaS月額課金型サービスを当社の主力事業とすべく、継続して経営資源をその事業へ集中し事業転換を図っております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、主にTRaaS事業におけるAI電力削減ソリューション「AIrux8」のJA山梨厚生連の運営施設への導入完了及び受注型Product事業における株式会社アクスト東日本の完全子会社化により増収となりましたが、前期におけるTRaaS事業での大手携帯キャリアショップへの導入案件初期導入売上の反動減及びテクニカルサービス事業での前期大型開発案件の売上反動減により減収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は74,996千円、営業損失は39,148千円、経常損失は39,123千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は41,886千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(TRaaS事業)

TRaaS事業の当第1四半期連結累計期間におきましては、AI電力削減ソリューション「AIrux8」について、JA山梨厚生連の運営施設へ2026年3月に導入が完了いたしました。今後、「AIrux8」を、AIを利用した顧客課題解決型のDXソリューションプラットフォームへとその提供価値を進化させるべく、シナジーを有する各分野の専門パートナーとの協業体制を推進しながら事業拡大を図ってまいります。また、デジタルサイネージプラットフォーム「CELDIS」も大手携帯キャリアショップ約2,000店舗への月額収益の積み上げも本格化すると共に、流通小売店舗向けDX製品「店舗の星」については、現在の導入国以外の新規海外市場や国内への展開に向けて、来店されるお客様から直接商品評価を取得できる「お客様レビューアプリ」（流通小売店舗様の既存会員アプリへアドオン可能な機能）の開発を推進いたしました。一方で、前期の大手携帯キャリアショップ約2,000店舗への導入案件の初期導入売上が反動減したことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は30,572千円、セグメント利益は14,744千円となりました。

(受注型Product事業)

受注型Product事業の当第1四半期連結累計期間におきましては、前期STB大型案件の反動減により売上高は減少したものの、株式会社アクスト東日本の完全子会社化による売上寄与により増収となりました。インバウンド需要の拡大により、主に飲食店の顧客が抱える個別ニーズや現場課題に応じた最適な当社のIoT製品のクロスセルやソリューション展開を進め、さらなる収益の拡大を目指してまいります。

以上の結果、売上高は26,274千円、セグメント利益は10,670千円となりました。

(テクニカルサービス事業)

テクニカルサービス事業の当第1四半期連結累計期間におきましては、前期に大型システム開発案件が終了したことに伴う反動減により、減収となりましたが、エンジニア派遣事業においては、引き続き安定した収益を確保し、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は18,149千円、セグメント利益は2,992千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ76,093千円減少し、488,212千円となりました。これは主に、現金及び預金が22,813千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が99,822千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ34,207千円減少し、179,182千円となりました。これは主に、買掛金が15,947千円、長期借入金が7,998千円、未払法人税等が3,894千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ41,886千円減少し、309,030千円となりました。これは主に、利益剰余金が41,886千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年3月12日に「2026年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該連結業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	279,254	302,067
受取手形、売掛金及び契約資産	126,175	26,353
商品及び製品	24,516	22,796
原材料及び貯蔵品	27	27
その他	5,396	10,569
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	435,369	361,813
固定資産		
有形固定資産	11,697	10,622
無形固定資産		
ソフトウェア	41,382	38,472
ソフトウェア仮勘定	4,612	7,885
のれん	65,708	63,994
無形固定資産合計	111,704	110,353
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,110	5,046
その他	423	377
投資その他の資産合計	5,534	5,423
固定資産合計	128,936	126,398
資産合計	564,305	488,212
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,102	6,155
1年内返済予定の長期借入金	28,992	31,992
未払法人税等	7,234	3,340
その他	32,381	23,014
流動負債合計	90,711	64,502
固定負債		
長期借入金	122,678	114,680
固定負債合計	122,678	114,680
負債合計	213,389	179,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,222	594,222
資本剰余金	539,848	539,848
利益剰余金	△784,122	△826,008
自己株式	△246	△246
株主資本合計	349,702	307,816
新株予約権	1,213	1,213
純資産合計	350,916	309,030
負債純資産合計	564,305	488,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	74,996
売上原価	46,588
売上総利益	28,408
販売費及び一般管理費	67,556
営業損失(△)	△39,148
営業外収益	
受取利息	349
為替差益	226
その他	22
営業外収益合計	597
営業外費用	
支払利息	572
営業外費用合計	572
経常損失(△)	△39,123
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,123
法人税等	2,762
四半期純損失(△)	△41,886
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,886

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純損失(△)	△41,886
四半期包括利益	△41,886
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第1四半期連結累計期間(自2026年2月1日至2026年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計(注)
	TRaaS事業	受注型Product事業	テクニカルサービス事業	
売上高				
外部顧客への売上高	30,572	26,274	18,149	74,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	30,572	26,274	18,149	74,996
セグメント利益	14,744	10,670	2,992	28,408

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自2026年2月1日 至2026年4月30日)
減価償却費	6,514千円
のれん償却費	1,714千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。